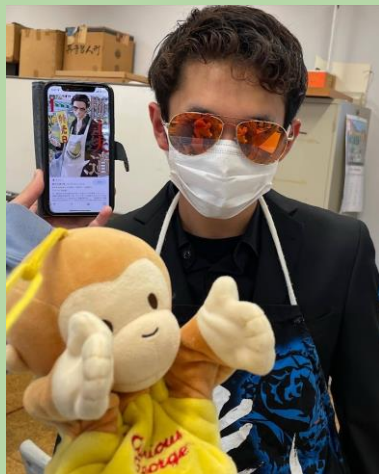


ICTカンファレンス

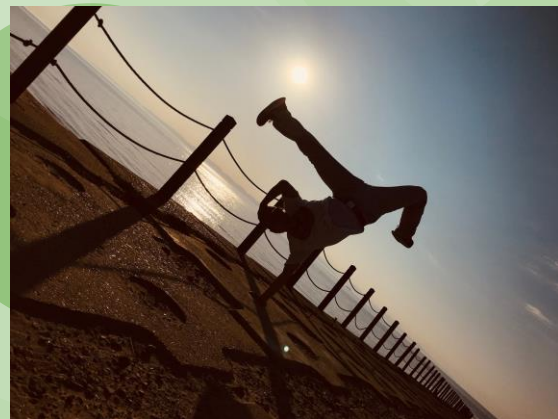
デジタル社会における学び方と学びの場
～オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」～



福島 波奈
長野県松本工業高校
高校3年



鈴木 一平
関西学院千里国際高
等部3年



吉田 月唯
北越高等学校
高校2年

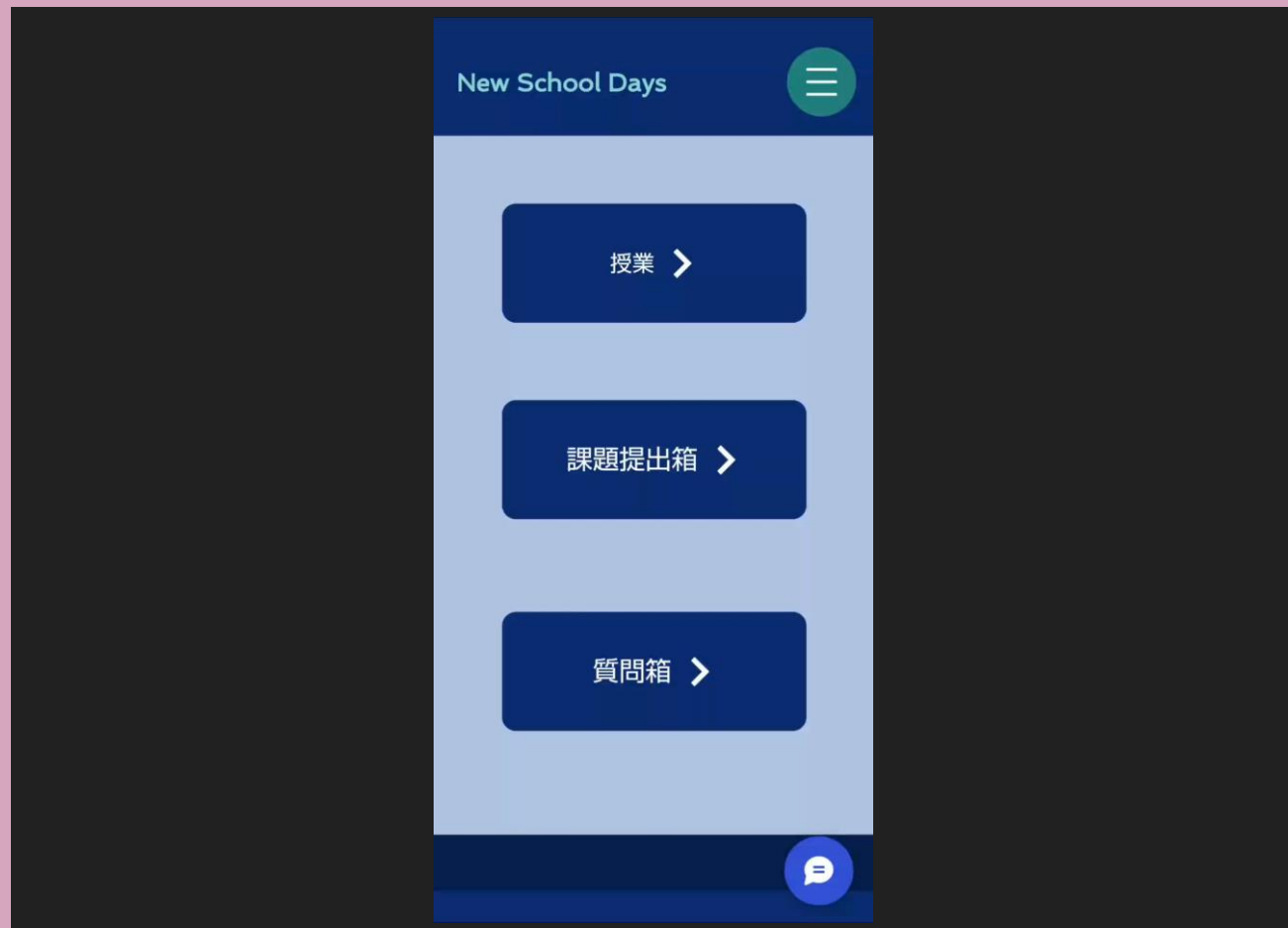
ネット環境が不十分でオンライン授業に支障が出る



オンライン環境の整備・向上

ポータルアプリの開発

アプリのイメージ



メタバースとVRの活用でさらに良くなる？

個人のICT能力を引き上げるためのWorkshop

インターネットの問題点

Wi-Fi環境

運動不足

詐欺

誹謗中傷

視力低下

依存症

SNS被害

信憑性

姿勢悪化

出会い系

インターネットの問題点

技術・知識

Wi-Fi環

依存症

姿勢悪化

系

インターネット問題解決までの流れ

- 1 全高校生にGoogleフォームを送信し、参加したいWorkshopと該当する自分の趣味を選んでもらう
- 2 趣味の合う人たちが集まったWorkshopでICTについて楽しく理解を深め、ICT能力を上げてもらう
- 3 学んだことを自分と違うワークショップを選んだ人たちに共有し、更なる理解を深めてもらう
- 4 複数人でチームを組み、1つのインターネットトラブル解決案について取り組んで提出してもらう

期待できる効果と限界

効果

- 全高校生のICT能力向上
- 趣味が合う人たちとWorkshopを行えるので、積極的に学べる
- 私生活にも役立つスキルを身に着けることができる
- 自分たちの将来の夢につなげることができる
- 社会貢献意欲が高まる

限界

- ICT能力の高い方の協力が必要
- Workshopに参加する時間を各学校の教員方に設けてもらわなければならない
- 全高校がGoogleフォームを使える環境が必要

高校生が作成する情報科目のマニュアル

高校生が作成する情報科目のマニュアル①

学校で使うタブレットの貸出無償化



家庭への経済的支援



みんなが平等に学習することができる環境

高校生が作成する情報科目のマニュアル②

教師が情報科目を伝えるのではなく
生徒同士で教え合う！



全国の商業高校や工業高等専門学校などの代表者が
年に4回オンラインで話し合い
情報科目のマニュアルを作成する

高校生が作成する情報科目のマニュアル③

STEP1

商業や高専などの高校生が他校の高校生に情報科目を教え合う

STEP2

高校生が小、中学生に教える

STEP3

年4回進化したことや新たな問題などを踏まえて商業や高専の方々がマニュアルの更新を行う

高校生が作成する情報科目のマニュアル④

高校卒業後もOBとしてオンライン会議に参加



大人にも最新の情報が入り
世代による情報格差を防げる

- オンライン環境の整備と向上を図る
- ICT能力を引き上げるためのWorkshop
- 高校生が作成する情報科目のマニュアル

必要な援助

- 経済的支援
- 普及活動
- ICT能力の高い方との連携



ご清聴ありがとうございました

デジタル社会における学び方と学びの場
～オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」～